

医療従事者負担軽減及び処遇改善計画書（2026年度）

1. 医療従事者の状況（2026年5月1日現在）

常勤職員数	1,027名（医師含む）
非常勤職員数	84名（医師含む）
週平均勤務時間	37.5時間
週平均残業時間	8.3時間（医師除く 場合3.05時間）

2. 医療従事者の夜勤を含む現状の勤務状況等の把握と改善目標

項目		実績	目標
勤務時間以外についての状況	年次有給休暇取得率	48.2%	50%
	育児休業の取得率	83.7%	100%
	介護休業の取得率	100%	100%
法定時間外労働	月45時間、年360時間	46名	30名
※医師を除く常勤職員を対象	特別条項の発行	55名	50名
	2～6か月平均80時間以上	0名	0名
平均月あたり夜勤回数（常勤職員に限る）		4.6回	4回まで

3. 医療従事者の負担の軽減及び処遇の改善に資する計画の具体的な取組内容

1. 院内保育所の設置（夜間帯の保育の実施）
2. 医師事務作業補助者の配置による医師の事務作業の負担軽減
3. 特定行為研修修了者の複数名の配置及び活用による医師の負担軽減
4. 看護補助者の配置による看護職員の負担軽減

4. 今年度の目標と評価

項目	現状	目標
1. 院内保育所の設置	夜間帯の保育希望者100%受け入れ。	希望者の100%受け入れを維持。
2. 医師事務作業補助・サポート体制の強化	文書に関しては緊急対応以外はほぼ100%下書きを実施。外来補助、オーダー代行入力、回診時代行入力、管理料算定カルテ入力、維持透析オーダー代行入力、各診療科（循環器、外科、脳外科等）のデータベース入力等を実施。	各種文書の下書き作成にAIを活用することにより文書作成時間の短縮と、AI電話導入により電話対応業務の効率化を図る。
3. 専門・特定行為研修修了者の育成	11名現場配置 令和8年6月から5名研修開始	3名研修修了・新規3名現場配置、および2名特定行為（または専門分野）の増加。
4. 看護補助・サポート体制の強化	デイケアに認知症看護認定看護師と一緒に介護福祉士2名が協働で認知症患者のケアを実施。	高齢者ケア担当者の配置。

5. その他の現行の取り組み

体制・項目	具体的な取り組み内容	対象・関連部門
1. 各診療科・部門支援（役割分担）	NP（ナースプラクティショナー）診療支援、病棟・ER・手術室への薬剤師配置、NSTによる栄養サポート、呼吸ケア・ICT・AST・褥瘡対策・認知症ケア等の多職種チーム医療、入退院支援、副診療部（検査・放射線等）・事務部の24時間バックアップ体制、精神科コンサルト整備	全医療従事者
2. 各種手当の見直し	給与改定時に各種手当（職務手当、夜勤・当直手当等）の見直しを実施	全医療従事者
3. メンタルケア	健康保険組合ホットライン設置、臨床心理士による相談日の設置	全医療従事者